

6月9日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
1A	木更津G	粕谷	木更津	5	-	4	佐倉城南	浦安	9	-	0	千葉南			-	
1B	茂原G	大羽澤	佐倉	7	-	0	袖ヶ浦	茂原	6	-	7	船橋中央			-	
1C	九十九G	遠藤・作田	市川京葉	5	-	3	九十九	千葉東	0	-	10	成田			-	
1D	千葉北G	高木・河道	鎌ヶ谷	2	-	4	千葉北	八千代	3	-	5	松戸	野田	1	-	7
1E	君津G	椿・津野	君津	0	-	7	八千代中央	千葉市	12	-	1	市原			-	
1F	千葉緑G	村石	千葉市W	5	-	0	千葉緑	船橋	8	-	10	我孫子			-	
1G	山桑球場	櫻井・鈴木	市川	6	-	0	匝瑳	四街道	1	-	6	八千代中央V			-	

6月16日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
2A	柏G	作田・高木・立松	柏	0	-	5	成田	千葉西	3	-	6	八千代中央			-	
2B	千葉北G	椿・山本	千葉北	3	-	0	八千代中央V	浦安	6	-	2	木更津			-	
2C	松戸市営	平山・石崎	松戸	8	-	2	我孫子	船橋中央	1	-	8	市川京葉			-	
2D	佐倉G	相葉・大羽澤・高橋	佐倉	3	-	2	市川	千葉市W	4	-	12	千葉市			-	

6月23日(日)

雨天順延

6月30日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
3A	千葉北G	椿・山本	市川京葉	0	-	5	千葉北	八千代中央	5	-	3	千葉市			-	
3B	佐倉G	相葉・大羽澤・高橋	松戸	1	-	8	佐倉	成田	7	-	5	浦安			-	

7月7日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
4A	佐倉G	大羽澤・作田・高橋	八千代中央	6	-	11	佐倉	成田	6	-	7	千葉北			-	
4B	山桑球場	後藤・鈴木	浦安	10	-	0	市川京葉	千葉市	10	-	5	松戸			-	

7月14日(日)

試合会場		責任者	第一試合				第二試合				第三試合					
5A	佐倉G	相葉・大羽澤	成田		-		八千代中央	千葉北		-		佐倉	浦安		-	

2024年千葉日報社杯新人大会 大会要綱

大会進行方法	<p>千葉3ブロックに所属するチームの中学2年生以下の登録選手によるトーナメント戦を行う。 関東連盟の規程に沿った合同チーム(他チームの選手応援を受けるチーム含む)、複数参加チームの出場を認める。ただし、本大会に限り、千葉3ブロック長承認のうえ応援を受ける人数を増員する場合がある。合同チームは合同大会用の選手登録書を、複数参加チームは子チームの選手登録書を作成のうえ、いずれの場合もブロック長の確認を受けること。 本大会は東関東支部秋季大会の5つのシード権をかけた大会で、トーナメント戦の準決勝に進出した4チームはその時点でシード権を獲得し、準々決勝で敗退した4チームでトーナメント戦を行い勝ち上がった1チームが5つ目のシード権を獲得する。なお、子チームを関東連盟に登録しているチームで複数チームが勝ち上がった場合は2チームにシード権を与え、子チームを登録していないチームで複数チームが勝ち上がった場合もシード権は1チームのみとする。</p>																																				
出場資格	<p>東千葉ブロック6(うち子チーム1)、西千葉ブロック13(うち子チーム2)、南千葉ブロック12(うち子チーム1)、計31チームに所属する中学2年生以下の登録選手で、ベンチ入りは1チーム10名~25名以内とする。(休部:印西 不参加:香取) 監督は試合前、本部に①所定のメンバー表5部②指導者カード③選手カード④投球数確認シート(様式A・様式B)のほか、合同チームと複数参加チームは⑤大会選手登録書を提出し、大会役員、運営責任者(グラウンド提供チームの事務局長)または審判員による確認を受ける。 選手カードは毎試合必ず背番号順にセットしてください。背番号は従来どおり1~25番です。 なお、10名のチームは2名、11名のチームは1名、3年生をブルペン捕手、ブルペン補助、シートノック時の補助員として起用できる。ただし、選手への指示・指導(応援含む)は行えない。補助員は出場選手と同じユニホームの着用はせず、試合前に本部に口頭で申し出ること。</p>																																				
日程 試合開始時刻	<p>予定日:6月9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)、7月7日(日)・・・5日間 予備日:6月15日(土)、22日(土)、29日(土)、7月6日(土)、13日(土)、14日(日)、15日(月・祝) 第1試合 9:00、第2試合 11:00 第3試合 13:00を原則とし、基本1会場2試合、第1試合 9:00、第2試合 11:00とする。 なお、夏季関東大会の試合日程と重複したチームの試合は、予備日を利用することがある。</p>																																				
審判員	<p>チーム帯同審判員(登録の有無は問わない)とする。なお、決勝戦、3位決定戦、5位決定戦は派遣審判員により行う。</p>																																				
試合	<p>関東連盟大会規程による(関東連盟HPに掲載)。ただし、コールドゲームに3回終了時13点差を加え、決勝戦にもコールドゲームを適用する。 決勝戦も7回終了時点で同点の場合はタイブレークに入る。なお、決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを継続する。 メンバー表は25人記載用を使用し5部提出(コピー可)する。 各チーム投球数カウント係1名の協力をお願いします。お互いにカウントし、イニング終了後アナウンスします。 組み合わせ表の若番チームが一塁側とし、敗者戦においても、本戦の若番チームが一塁側とする。 チームは、グラウンド到着後速やかにメンバー表、指導者カード、選手カードを提出願います。なお、合同チームと複数参加チームは大会登録書を併せて提出願います。</p>																																				
荒天時の対応	<p>天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。 グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案し中島支部競技部長と協議の上、中止または待機を決定し2試合目以降のチームに連絡する。 種々の都合により試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。</p>																																				
表彰	<p>優勝・準優勝・第3位・第4位</p>																																				
大会競技委員 (敬称略)	<p>【連盟理事長】三木慶造 090-4826-4469 【支部副支部長】相葉延市 090-2633-3306 【支部競技部長】中島洋 090-2665-0938 【支部競技部副部長】櫻井道徳 090-4667-0983 【支部競技部】平山忠 090-9009-8530 / 大羽澤一雅 080-8877-1267 / 鈴木理人 090-8771-8514 【支部競技員】山本久 090-2646-6455/粕谷哲也 090-4616-9012/津野広昭 090-8879-5640/高木潔 090-2206-1811 立松弘通 090-4200-6781 / 遠藤正彦 090-1116-9023 / 磯野嘉一 090-1605-5546 / 作田喜三夫 090-3100-5887 【支部広報部長】後藤敦 090-5206-1189 【支部広報部副部長・競技部】椿和彦 080-4142-0995 【支部審判長】柴田公一 090-4065-7297 【支部審判部総務部長】飛田泰宏 090-1504-2961 【ブロック審判長】〔東〕中村新悟 090-1116-4465 / 〔西〕千葉孝 090-2557-3092 / 〔南〕川俣滋彦 090-5191-1909</p>																																				
グラウンド 提供チーム	<table border="1" data-bbox="236 1422 1560 1646"> <thead> <tr> <th>チーム名(駐車場数・タイプ)</th> <th>責任者(敬称略)</th> <th>携帯番号</th> <th>チーム名(駐車場数・タイプ)</th> <th>責任者(敬称略)</th> <th>携帯番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐倉(10台・B)</td> <td>高橋事務局長</td> <td>090-4054-4223</td> <td>茂原(10台・B)</td> <td>大羽澤事務局長</td> <td>090-8877-1267</td> </tr> <tr> <td>九十九/日向の森(10台・A)</td> <td>中島事務局長</td> <td>090-2665-0938</td> <td>千葉緑(8台・A)</td> <td>村石事務局長</td> <td>080-5198-7275</td> </tr> <tr> <td>千葉北(10台・A)</td> <td>山本事務局長</td> <td>090-2646-6455</td> <td>柏(10台/土5台・A)</td> <td>立松事務局長</td> <td>090-4200-6781</td> </tr> <tr> <td>木更津(15台 大×・A)</td> <td>粕谷事務局長</td> <td>090-4616-9012</td> <td>八千代中央(10台・A)</td> <td>宮川事務局長</td> <td>090-3105-0246</td> </tr> <tr> <td>君津(20台・A)</td> <td>津野事務局長</td> <td>090-8879-5640</td> <td>匝瑳/山桑(12台 大×・B)</td> <td>鈴木事務局長</td> <td>090-8771-8514</td> </tr> </tbody> </table> <p>グラウンド提供チームにやっていただくこと 本大会は関東連盟夏季大会等と日程が重なるため、全会場に役員を配置することができません。従ってグラウンド提供チームの事務局長には運営責任者となっただき、審判責任者と協力して大会運営に当たっていただくようお願いいたします。なお、運営に当たっては、連盟大会規程に従い、不明点等は中島支部競技部長と協議の上、進行願います。 ・運営責任者は、第1試合開始時刻の1時間30分前に集合し、審判のミーティングに参加し、当日の運営についての打ち合わせを行う。 ・7時40分から第1試合チームがアップできるように準備する。 ・グラウンド使用料(2,500円/1チーム1試合 公営球場は3,000円)、審判・役員弁当代の徴収、領収書の発行。 ※審判・役員弁当代の徴収金額=(審判員数+役員数)×800円÷試合を行うチーム数(四捨五入し10円単位) ・メンバー表と指導者カード、選手カードを確認する(合同チームと複数参加チームは大会登録書も確認)。 ・審判及び役員弁当手配(1個700円程度)。 ・運営責任者は、試合経過を関東連盟のHPに速やかにアップすることで、役員への電話連絡を不要とする。 ・結果並びに次戦の予定は、広報部椿副部長から役員、各チームに配信し、広報部後藤部長、椿副部長により支部HPにUPする。 ・運営責任者は、準々決勝以降千葉日報社への結果報告書を、その日のうちに東関東支部事務局 鈴木 あて FAX送信(FAX 0479-62-1092)する。</p>	チーム名(駐車場数・タイプ)	責任者(敬称略)	携帯番号	チーム名(駐車場数・タイプ)	責任者(敬称略)	携帯番号	佐倉(10台・B)	高橋事務局長	090-4054-4223	茂原(10台・B)	大羽澤事務局長	090-8877-1267	九十九/日向の森(10台・A)	中島事務局長	090-2665-0938	千葉緑(8台・A)	村石事務局長	080-5198-7275	千葉北(10台・A)	山本事務局長	090-2646-6455	柏(10台/土5台・A)	立松事務局長	090-4200-6781	木更津(15台 大×・A)	粕谷事務局長	090-4616-9012	八千代中央(10台・A)	宮川事務局長	090-3105-0246	君津(20台・A)	津野事務局長	090-8879-5640	匝瑳/山桑(12台 大×・B)	鈴木事務局長	090-8771-8514
チーム名(駐車場数・タイプ)	責任者(敬称略)	携帯番号	チーム名(駐車場数・タイプ)	責任者(敬称略)	携帯番号																																
佐倉(10台・B)	高橋事務局長	090-4054-4223	茂原(10台・B)	大羽澤事務局長	090-8877-1267																																
九十九/日向の森(10台・A)	中島事務局長	090-2665-0938	千葉緑(8台・A)	村石事務局長	080-5198-7275																																
千葉北(10台・A)	山本事務局長	090-2646-6455	柏(10台/土5台・A)	立松事務局長	090-4200-6781																																
木更津(15台 大×・A)	粕谷事務局長	090-4616-9012	八千代中央(10台・A)	宮川事務局長	090-3105-0246																																
君津(20台・A)	津野事務局長	090-8879-5640	匝瑳/山桑(12台 大×・B)	鈴木事務局長	090-8771-8514																																
試合球 ロジンバック	<p>各チームは確認用ロジンバック1個及び試合球(公認メーカーの確認のできる練習球可)3個を試合開始前攻守決定時に抛出し、試合球の試合中不足分はその都度抛出する。試合終了後、試合球は各チームへ返却する。</p>																																				

<様式 A>

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

チーム名：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		vs		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS	
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事(役員) 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

【投球数制限】

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記①②③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2024千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

<記入例>			※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数										
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90(92)球	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正	正正正					90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20 / 90(92)	/	/	/	/	/	

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【記入欄】			一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①様式 B´ やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ②試合終了後、責任審判員が保管する。